

漢 ぺ き 君

<http://www.sanrui.co.jp/>

キーボードで文字を打つことに慣れてしまうと、手書きでメモを取る時に漢字を思い出せず、パソコンなどで調べて書くことがあります。これは年を重ねたことによる記憶力の低下だけが原因ではなく、パソコンや携帯型の情報端末機器などが普及して“書く”機会が減ったことが原因として考えられます。言い換えれば漢字文化が衰退している危機的状況であり、ただの物忘れではないのです。

書物を扱う司書として、漢字文化の衰退に歯止めをかけるという大なる使命を背負い、インターネットで漢字を楽しんでみました。

漢ぺき君(図1)は、部首やつくりの大雑把な読みで漢字を探すニュータイプの漢和辞典です。例えば「板」という字の読みを探すとき、部首やつくりという漢字を構成している要素を探します。この場合「きへん」と「はん」という字なので、その頭文字をとって「きは」という見出しを入力して探します(ぺきります)。し

かし、部首が読めなくて説明できないこともあります。そんな困った状況を想定しながら、漢ぺき君でぺきってみましょう。

まずルールにしたがい(図2)、調べたい文字の構成されている要素に見出しをつけます。「舎」の場合「やね」に「よし」ですが「やね」を読めない時は「ん」で代用するので、「んよ」が見出しになります。慣れるまでにやや時間がかかりますが、漢字をみて「これは○○○」と見出しがひらめくようになれば、漢ぺき君の達人です。そのうちにぺきることが目的になり、どうすればぺきれるのかと本来の目的を忘れ没頭するのもまた楽しいものです。

サイト内には主な部首名を紹介しているページもあり、忘れかけていた漢字の知識を再び習得することもできます。発明協会会長奨励賞を受賞した経歴もある漢ぺき君です。ちょっと一息できるときに楽しんでみてください。

(文責：佐藤道子／兵庫県立光風病院)



図1 漢ぺき君トップページ

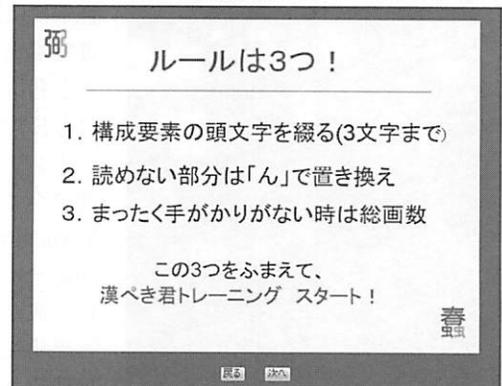


図2 ルール